

10月9日

### 釧網本線全通80周年を記念「摩周で会いましょ」を開催



釧網本線沿線市町村などをつくる釧網本線活用推進協議会(会長・小磯修二釧路公立大学長)主催のイベント「摩周で会いましょ」が10月9日、J A 摩周湖ホールで行われました。このイベントは、釧網本線沿線の振興を目指し、また同線全通80周年を記念して開催されたものです。釧路からの臨時列車「摩周で会いましょ号」で摩周駅に降り立った乗客が、白糠町出身の歌手・喜多島麻鈴さんのコンサートを楽しんだほか、10年前の70周年記念の際に緑駅に埋められたタイムカプセルの開封式などが行われました。

釧網本線沿線市町村などをつくる釧網本線活用推進協議会(会長・小磯修二釧路公立大学長)主催のイベント「摩周で会いましょ」が10月9日、J A 摩周湖ホールで行われました。

10月9日

### やさしさにあふれた温泉と福祉のまちを目指してふれあい祭り2011を開催



ふれあい祭り2011(同実行委員会主催)が10月9日、川湯ふると館で行われました。障がいのある方、ない方、子どもからお年寄りまで、全ての方が支え合い、安心して生活できるまちづくりを目指して開催されたものです。合唱や手話コーラスなどの披露のほか輪投げなどの縁日、ハンドマッサージや抹茶のサービスなどの体験コーナーが用意され、訪れた皆さんが思い思いに楽しんでいました。

ふれあい祭り2011(同実行委員会主催)が10月9日、川湯ふると館で行われました。

9月25日

### 道内のばん馬愛好家が集合熱戦続きの摩周湖ばん馬大会



摩周湖馬友の会(近江屋茂会長)主催のひがし北海道馬事祭「第3回摩周湖ばん馬大会」が9月25日、弟子屈町摩周馬場で開催されました。この日は天候にも恵まれ、大勢の観客の声援と、全道各地から参加した馬産農家などの気合の入った掛け声で、会場内は熱気に包まれていました。レースでは、子どもたちが大人顔負けの手綱さばきを見せたり、帯広競馬場で今年デビューした井上真司騎手(川湯出身)も参戦するなど、見どころ満載でした。レース以外にも、観客参加の大抽選会や餅まきなどが行われ、大変な盛り上がりを見せました。

摩周湖馬友の会(近江屋茂会長)主催のひがし北海道馬事祭「第3回摩周湖ばん馬大会」が9月25日、弟子屈町摩周馬場で開催されました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

10月13日

### 芸能発表を通して親睦を深める老人福祉大会「演芸交流の集い」を開催



大正琴サークルの皆さんによる発表

第21回弟子屈町老人福祉大会「演芸交流の集い」(弟子屈町老人クラブ連合会主催)が10月13日、福祉センターで開催されました。町内各老人クラブの会員が一同に会し、親睦を深めることと福祉の向上を目指して毎年行われています。釧路シニア劇団「南の風」による演劇発表や、町内の文化サークルなどの皆さんによる発表のほか、各老人クラブの会員の皆さんが合唱や踊りなどを披露し、たくさんの拍手が贈られていました。

第21回弟子屈町老人福祉大会「演芸交流の集い」(弟子屈町老人クラブ連合会主催)が10月13日、福祉センターで開催されました。

10月11日

### 災害時の備えと防災教育に役立てて弟子屈防火管理協議会が弟小に防災頭巾寄贈



防災頭巾を手渡す筒井会長(右)

弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)では10月11日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)に防災頭巾150個を贈りました。3月11日の東日本大震災を受け、災害時に子どもたちの身を守ってほしいと贈ったもの。3月までに美留和、奥春別、和琴、昭栄の各小学校にも贈る予定です。筒井会長は「いつ来るか分からない災害に備えてほしい」と話し、伊藤校長は「自分の身は自分で守るよう、日頃から指導している。頭巾を防災教育にも役立てたい」と話していました。

弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)では10月11日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)に防災頭巾150個を贈りました。

10月2日

### 一致団結しての救助活動2つの老人ホームで火災救助訓練



訓練の様子

弟子屈消防署と弟子屈消防団は10月2日、弟子屈養護老人ホーム倅和園と厚生連特別養護老人ホーム摩周で火災救助訓練を行いました。訓練には、消防職員・団員約50人と、両施設の職員・入所者196人が参加。万が一火災が発生した場合、人命救助を最優先とした活動と、消防側と施設側の連携が円滑にできるかの検証も併せて行いました。訓練を通じ、日頃からの危機管理の徹底と速やかな初期動作が、いかに大事かを実感した合同訓練となりました。

弟子屈消防署と弟子屈消防団は10月2日、弟子屈養護老人ホーム倅和園と厚生連特別養護老人ホーム摩周で火災救助訓練を行いました。

9月29日

### 道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける明盛建設による街頭啓発



旗の波運動で安全運転をアピール

明盛建設(藤田文明代表取締役)の皆さんが9月29日、国道241号の道の駅摩周温泉近くで、道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。社会貢献活動として、秋の全国交通安全運動期間に合わせて、毎年行っているものです。この日は、社員など約40人が参加。旗の波運動を行い、道行くドライバーなどに安全運転を呼び掛けていました。

明盛建設(藤田文明代表取締役)の皆さんが9月29日、国道241号の道の駅摩周温泉近くで、道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。

10月22日

### イベントを楽しみながら防災意識を高めてほしい防火フェスティバルで多彩な催し



最新式の屈折はしこ付き消防ポンプ車に体験乗車

第20回防火フェスティバル(同実行委員会など主催)が10月22日、商工会駐車場で開催されました。秋の火災予防運動の周知と防災意識の高揚などを目的に1981年に始まり、今年で20回目。はしこ車乗車体験や消防署員による戦隊ショー、女性消防団員によるおしるこの無料配布などが行われ、親子連れなどでにぎわいました。

第20回防火フェスティバル(同実行委員会など主催)が10月22日、商工会駐車場で開催されました。

10月21日

### ふるさとの素晴らしさを再発見秋の名木ツアー



須田さんの説明を受けながら名木を見学する参加者

2006年に町が指定した名木を巡るツアーが10月21日に開催されました。春のツアーに続いて、今年度2回目のツアーです。根釧西部森林管理署との共催で、釧路市からの参加者も含め37人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんから、樹齢などの説明を受けながら見学しました。また、普段はなかなか行くことのできないキンムトも訪れ、参加者の皆さんは秋空に映える木々に見入っていました。

2006年に町が指定した名木を巡るツアーが10月21日に開催されました。

10月5日

### 出来秋の喜びを地域の方とともに味わう美留和小学校で収穫祭



料理について話しながら和やかに食事

美留和小学校(山内雅恵校長)で収穫祭が行われました。総合的な学習の一環として、春から学校の農園で児童が育ててきた野菜を、協力してくれた地域の方たちや保護者と一緒に味わうもので、この時期毎年行われています。先生方の助けを借りながら児童が調理した豚汁やサツマイモを炊き込んだおにぎり、トマトジャムのかかった牛乳もちなどが振る舞われました。また、取り組みへの感想などが児童から発表されました。

美留和小学校(山内雅恵校長)で収穫祭が行われました。

10月5日

### リニューアルオープンから82日目道の駅の来場者が10万人を突破



記念品を受け取る葛和さん(中央)

7月16日にリニューアルオープンした道の駅摩周温泉の入場者数が10月5日、10万人を突破しました。当初の予想より大幅に早い、リニューアルオープンから82日目の快挙です。10万人目の来場者となったのは、奈良県からお越しの葛和成介さん。徳永町長からジャガイモや摩周そばなどの特産品が記念品として贈呈されました。ご夫婦で道内を旅行中にたまたま立ち寄ったという葛和さんは「突然のことで驚いたが、とてもうれしい。旅の思い出になる」と話していました。

7月16日にリニューアルオープンした道の駅摩周温泉の入場者数が10月5日、10万人を突破しました。